

学用品について・・・横代小では、こんな指導をしています

Q1. どうして箱型の筆箱いいの？



筆箱の中身(えんぴつの本数など)が、すぐに確認できるし、えんぴつや消しゴムなど必要なものが早く取り出せるからです。

また、使っていないえんぴつがどれかも分かるし、筆箱の中で鉛筆の芯が折れることも少ないですね。



チャック式(ふくろ式)の筆箱や缶ペンケースは、たくさん入るから便利そうだけど、欲しいものがすぐに取り出せなかったり、取り出す時に机の上が散らかったり中身を確認しにくいから鉛筆を落としたりしていても、気づきにくいですね。

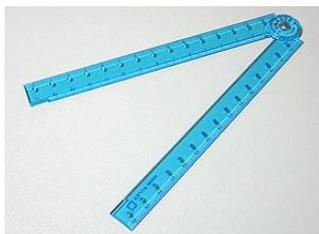
Q2. どうして、もようやイラストが付いていない定規がいいの？



定規や分度器のメモリを正しく読み取ることは、算数の学習ではとても大切なことです。

もようやイラストがあるとメモリがよみとりにくいからです。

角度では、1度、長さでは1ミリメートルのめもりもはっきり読み取れるものを用意しましょう。



折りたたみ式の定規は、筆箱にも入れやすく、長い線が引けるので便利そうだけどこわれやすく、つい開いたり、閉じたりと学習に集中しにくい状況を作ってしまうので学校では、使わないように指導しています。

Q3. えんぴつや消しゴムはどんなものがよいの？

【えんぴつ】



えんぴつは、六角形の物がにぎりやすく書きやすいです。

こさは、BかHB、低学年は、筆圧が弱いので2Bでもよいかもしれません。筆箱の中に5本は用意しましょう。

ペンシルを使わせないのは、えんぴつを強くにぎり、美しく正しい文字を書くことができる練習をするためなのです。



きらきらしたもようやキャラクターが付いたえんぴつ、えんぴつを転がしてゲームができる「バトルえんぴつ」などは、どうしても集中して学習することをじゃまします。(カラーペンも同じです)

また、友達のきらびやかでかわいい文具がほしくなり、よけいな買い物をしたり、お店や友達の筆箱から、ついとってしまったりする事例も他の学校では少なくありません。

【消しゴム】



消しゴムは、よく消えるものをえらびましょう。低学年の児童には、少し大きめのサイズをえらぶと、にぎったときに力が入りやすく、消しやすいと思います。



においがついたものや形がかわいいものは、できるだけえらばない方がよいでしょう。やはり、学習への集中力をやしなうさまたげになります。

【上ぐつ】・・・上ぐつは、白色の無地の物をお使いください。

(底やつま先のゴムは、何色でもかまいません)

※ 学習に使用する物は、学習に集中するため華美なものは避けてもらうようお願いしています。保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



子どもの気に入った文具で学習させた方が、勉強に身が入るとは限りません。目的と用途、機能性、そして、子どもが学習に集中して取り組めるものを保護者が選んで使わせることも大切なのです。

お子様の筆箱の中身をもう一度確かめてみてください。